

鉄道、バスの長期間運休は公共交通機関として問題。抜本的対策求めよ 基本構想が未確定なのに、ガス水道局庁舎新築関連経費を予算計上

私は22日、市議会で一般質問を行いました。質問したのは大雪対策と市庁舎再編基本方針についてです。まず大雪対策です。私は、「今冬の雪は、いやらしい降り方をし、市民生活に支障が出た。被害実態の把握と課題整理が必要だ。鉄道、バスは長期間運休した。公共交通機関としてふさわしい役割を果たしていないのではないか。市として各社に対してどう働きかけたのか」などと質問しました。

村山市長は答弁の中で鉄道、バスなどについてふれ、「鉄道は、大雪により除雪作業が追い付かず、JR信越本線の直江津・柏崎間において、2月6日から8日までの連続3日間を含む延べ4日間、終日運休した。加えて、信越本線で延べ13日



間、えちごトキめき鉄道で延べ21日

間、ほくほく線で延べ9日間にわたって、一部の便の運休や区間運休が発生した。また、路線バスは、浜線や教育大学線など6路線で全区間、終日運休となる日があった。今冬の状況を踏まえ、鉄道は、各事業者が連携・協力した除雪体制の構築や代替バスの運行等が課題と考えている。また、路線バスは、バス路線の拡幅除雪や排雪について運行事業者と協議をし、優先順位を付けて対応する必要がある」などのべました。また、観測地点の見直しについて、「県や市以外の関係機関が保有する観測データの活用も含め、市独自の観測地点を新設するなど、市域全体の配置状況を勘案した上で、検討していく」と答えました。

再質問で私は、「3日間連続して運休した信越線、その背景には人手が足りない、新型投排雪機がうまく働いていない、などがあるのではないか。抜本的な対策強化を求めざるべし」と訴えました。

庁舎は市民の暮らしの砦

続いて、市の庁舎再編方針とガス水道局庁舎の建設についてです。

私は、「市の庁舎は市民の命と暮らしの砦だ。それだけに、市民の声を十分反映させていく必要がある。重視したポイントは何か」と尋ねま

した。

これに対し村山市長は、「来庁する市民にとって、分かりやすく利用しやすい施設であるべきという『市民の利便性の維持・向上』、市民に適切な行政サービスを提供していくための『効率的・効果的な組織運営と業務遂行』『費用対効果』などの4点を検討の視点に据えた」と答えました。

ガス水道新庁舎建設については、基本実施設計業務委託料などが予算に計上されています。私の質問で、基本構想が正式に決まっていなかったため、新庁舎建設事業が進められていくことが明らかになりました。

雨の中、市内小学校で卒業式

上越市内の各小学校は23日、卒業式を行いました。



【オクチョウジザクラ】バラ科の落葉小高木。漢字で「奥丁字桜」と書きます。チョウジザクラの変種で市内ではたくさんあります。今年はずでに白または薄紅色の花を咲かせています。花言葉は「純潔」「高尚」。

私は吉川小学校の卒業式に出て、卒業生を激励してきました。児童たちの「お別れの言葉」、卒業生の合唱の時には激しい雨の音がしました。それでも、子どもたちは元気に声を出し、歌を歌いました。

池田隆校長は、式辞の中でフランスはパリ市の紋章に書かれた「たゆたえども沈まず」という言葉を引用して卒業生を激励しました。「たゆたえども沈まず」は「人生は揺られて当たり前、でも沈まない」という意味だそうです。

池田校長は絵を描く校長として知られています。今回は「たゆたえども沈まず」と題した



【たゆたえども沈まず】(作品No.235)
上越市立吉川小学校長 池田 隆
フランスの首都パリ市の紋章には「たゆたえども沈まず」と書いてあります。分かりやすく言うと「揺れはするが、沈没はしない」という意味です。パリの街は歴史上何度も戦争によって壊されてきましたが、その度にパリ市民は美しい街を築いてきました。
この絵では、「おぞら学年」の卒業生が波に揺られながらも、あきらめずに進もうとしている場面を描きました。波や背景は葛飾北斎の浮世絵を手本にしました。
これからの人生、楽しいことはもちろんありますが、困難なことや悲しいこともあります。そのような波に揺られることがあっても、「人生は揺られて当たり前、でも、沈まないぞ」という気持ちをもち続けましょう。そうすれば、きっと船は進み、目的地に着くことなのでしょう。
(觀賞するときに聴きたい曲：『音楽』中島みゆき)
FLUCTVAT NBC MERGITVRIはラテン語で、日本語に訳すと『たゆたえども沈まず』

絵の中に29人の卒業生が船に乗っている姿を入れました。バックは米山と葛飾北斎風の荒波、卒業生の一人ひとりの顔は似顔絵にしてみました。今回も見事な絵でした。「たゆたえども沈まず」、いい言葉を教えてくださいました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1851 2018.4.1
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見えてある記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第四九九回

土産の大きさ

笑っちゃいました。土産は大きすぎてもいけない。かと言って、小さすぎてもいけない。「ほどよい大きさ」でないと、予想しなかった苦労を味わうことになるという話です。

話をしてくださったのは、先日、誕生日を迎えたばかりのT子さんです。三月も半ば過ぎ、私が訪ねたとき、お茶を飲んでいないかと誘われました。

お昼休みの時間帯であり、最初は遠慮していたのですが、T子さんはいつも美味しい煮付けや漬物を出してくださるので、それにひかれて、上げさせてもらいました。

「さあさ、入ってください」と言われ、居間に行くとお連れ合いがコタツに入ってテレビを観ておられました。コタツのテーブルの上には干し芋、だいこんの切り干し、大杉屋のお菓子、そして羊かんがありました。美味しそうなものばかりです。

挨拶を済ませた後、私はまず、小皿に入れていただいた切り干し大根をゆつくりかみながらいただきました。大根をすべて食べ終わって、次に目に入ったのが○△屋の羊かんでした。

T子さんは、私の羊かんへの視線を感じたのでしょうか、「○△屋の羊かんを買おうと思ったんだけど、東京駅のどこに売っているのかわかんねくてね」と東京へ行ったときの出来事を語り始めました。

T子さんは七〇代です。東京へは、それこそ何十回も行っておられるはずなんです。が、これまで東京へは、お連れ合いの車で行かれたようです。驚いたことに、今回初めて新幹線に乗ったというのです。

くびき駅からほくほく線に乗って越後湯沢駅に行き、そこから新幹線に乗って東京へ。子どもさんからは、「東京駅に着いても動いちゃだめだよ」と言われたとか。東

京駅に到着すると、ご夫婦が乗った車両から降りる場所に子どもさんがいて、びっくりしたと言って、T子さんは笑いました。

○△屋の羊かんは東京へ行った証として多くの人が買い求めます。T子さんたちの場合もそうでした。東京駅で買ったかどうかまでは聞きませんでした。最終的には子どもさんの力も借りて無事、入手できたようです。

土産にということではT子さんが購入したものは、縦六〇七センチ、横二〇センチほどの小さな羊かんが三つ入った箱です。消費税を入れて一箱千円ほどだったといいます。

土産としてたくさん買うには手ごろな値段です。でも、箱の大きさは一〇センチ×七センチくらい。これだけ小さいと、「これ、東京へ行った土産です」そう言って差し出すには小さすぎると思う人がけっこういるのではないのでしょうか。

T子さんもそう考えた一人でした。土産として渡すときには、「これ、千円したんだよ」とか、「小さい割に値段は高くね」などの説明が必要だと言います。そうは言っても、実際は言い訳がましく聞かれます。それでどうしたかというところ、このほかに何かを買い足して渡すことになるというのです。話を聞いて、私は笑ってしまいました。

笑ってしまった私も、じつは似たような経験がありました。お中元にと注文した品物の大きさが思っていた以上に小さくて、地元の美味しいトマトをプラスして渡したことがあるのです。

いうまでもなく、お土産は大ききで良し悪しが決まるわけではありません。贈る人の感謝の心がこもっていれば、それでいいのです。でも、どうしてなのか、「ほどよい大きさ」にこだわりがちですね。

ニュースフラッシュ

※次号でシリーズ「春よ来い」は500回を迎えます。読者の皆さんから20字くらいの感想をいただけたら、幸いです。レポートに掲載の予定。匿名でも掲載可能です。

【日本とチェコつなぐ】

コンサート、「日本とチェコに架かる橋」を26日、鑑賞してきました。主催は私も入っている「夢をかなえる会」のピアノの市村幸恵さんの演奏は久しぶりに聴きました。上越市出身の人が外国で頑張っていて、こうしてふるさともやってきてくれるのうれしいですね。前の方の席にいたので、ピアノ、チェロ、ヴァイオリン、クラリネットの素敵な音の響き、しっかり伝わってきました。ベートーヴェンなどの曲を聴いて、最後に日本の「ふるさと」の演奏、よかったです。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	3月21日(水)	3月28日(水)
上越南消防署	0.040	0.043
上越北消防署	0.047	0.053
新井消防署	0.040	0.053
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.057	0.057
東頸消防署	0.043	0.050
高士分遣所	0.040	0.050
名立分遣所	0.050	0.050

【リニューアルされた歴史博物館を視察】



市議会でも27日、改装された歴史博物館を見ました。まずは1階の大きな写真にびっくりの床に上越市全域が写ったものが刷り込んであったのです。2階の受付を過ぎると、正面の壁に約400年前の上越市のほとんどが描かれた越後国頸城郡絵図があります。これもすごい迫力でした。2階の常設展示は、越後の都が変遷していく様子を壁面に表示しているほか、フロアでは模型などを使ってわかりやすくしてありました。参加者は、「歴史博物館」の文字を見やすくなどと注文もしました。